

## 10 使い方と施用量

### 使い方

- やさい育苗や水稲育苗では、床土に混ぜて使います。
- 苗床には、全面散布後ロータリーで攪はんし、整地します。
- やさい・花きの露地や施設栽培では、溝施用(作条施用)またはうねの全層施用がもっとも効果的です。
- 果樹の植栽時には、植穴施用が適します。
- 果樹園では、表面施用後かるく起こします。また、樹勢回復には、樹冠下にタコツボを掘り、施用します。
- 水稲本田には、荒おこし、または代かき前の耕起時に全面施用します。

### 施用量のめやす

#### 1 育苗には

ポット育苗	原土1m <sup>3</sup> あたり	100~200kg
播種床	100m <sup>2</sup> あたり	200kg
仮植床	100m <sup>2</sup> あたり	100kg
*水稲育苗	1箱あたり	300g

\*ハイフミン(水稲育苗用)をご使用下さい。

#### 2 やさい・花き類には

露地栽培	10アールあたり	100~300kg
施設栽培	1m <sup>2</sup> あたり	0.5~1.0kg

#### 3 果樹には

	成木園	10アールあたり	100~300kg
新植	リンゴ	植穴1つあたり	3~5kg
	ミカン・ナシ・カキ・ブドウ	植穴1つあたり	2~3kg

#### 4 水稲には

本田	10アールあたり	60~100kg
----	----------	----------